

サイバーフィジカルシステム (CPS) 社会実装に向けた取組みについて

JEITA は CPS 社会を実現する担い手として CPS 社会実装検討 TF を設置して積極的な活動へ

「モノのインターネット：“IoT”」は以前からある概念ですが、テクノロジーや利用環境が急激に変化する中、M2M を発展拡張する考え方として、改めて世界中で今後のトレンドとして注目されており、米ではインダストリアル・インターネット (IIC)、IoT ワールドフォーラム、独ではインダストリー 4.0 などが提唱されるなど、各々関連するプロジェクトが開始しています。

IoT の技術革新により、実世界 (フィジカル空間) にある多様なデータをセンサネットワーク等で収集し、サイバースペースで大規模データ処理等を駆使して分析/知識化を行い、そこで創出した情報や価値によって、産業活性化や社会問題を図っていくという CPS (サイバーフィジカルシステム) が現実のものとなり、経済産業省産業構造審議会商務流通分科会情報経済小委員会 (第 4 回会合:4/15) では、来るべき CPS による社会の大変革への対応として、「CPS によるデータ駆動型社会の到来を見据えた変革」を副題とする中間とりまとめ (案) が公表されたところです。

この中で、CPS に関する取組みは欧米各国でもまだスタートしたばかりで、日本も、今まさに国際競争力の獲得に、高度な技術力、良好なネットワーク環境等、日本の強みをベースにデータを核とした新たなビジネスモデルへの転換を図ることが重要で、日本を企業間・産業間連携により、スピード感を持つ

て試行錯誤の取組みができる「テストベッド」にするべく、制度面の整備、企業間の取組みの中核拠点となる CPS 推進協議会 (仮称) の創設 (年内予定)、産学官連携による基盤整備: セキュリティ、技術、人材等課題への取組みが示されました。

我々 IT・エレクトロニクス業界は、まさに、この CPS 社会を実現する担い手としてこれらの必要性に応えつつ、政府や大学、関係機関・団体と連携しながら、JEITA 全体で課題対応、提言等を行うことを目的とし、横断的な対応の場として、CPS 社会実装検討 TF を設置して活動して参ります。当面の活動 (案) としては、CPS の内外動向の把握として情報収集・共有からスタートし、共通課題への対応として、国際協調、規制・制度面の調和 (プライバシー・セキュリティ等含)、普及・啓発/2020 年時点での社会実装に向けた取組み、標準化等の検討を予定しております。

サイバーフィジカルシステム (CPS) の社会実装に向けた取組み

